

平成 21 年度第 1 回液化石油ガス器具等関係基準分科会議事録

I. 日 時 平成 21 年 9 月 18 日 (金) 10 : 00 ~ 11 : 00

II. 場 所 高圧ガス保安協会 第 2 会議室

III. 出席者 (敬称略、順不同)

主 査 小川

委 員 渡邊、三角、内倉、増田、北條

協 会 北出、吉瀬、熊谷

IV. 配布資料

資料 1 液化石油ガス器具等関係基準分科会及び解釈専門分科会 委員名簿

資料 2 平成 20 年度第 2 回液化石油ガス器具等関係基準分科会議事録(案)

資料 3 液化石油ガス器具等関係基準の改正について(案)

資料 4 液化石油ガス器具等関係基準 新旧対照表(案)

① 調整器技術基準(KHKS 0735) 新旧対照表(案)

② 液化石油ガス用継手金具付高圧ホース技術基準(KHKS 0736) 新旧対照表(案)

別添 液化石油ガス分野技術基準 3 ヶ年計画(平成 21 ~ 23 年度)

V. 議事

1. 事務局挨拶

分科会開催にあたり、事務局である高圧ガス保安協会液化石油ガス部より挨拶があった。

2. 定足数の報告

事務局から、本日の委員の出席人数が 6 名であることを報告し、技術基準策定手順書第 12 条第 5 号に定める定足数を満足していることを報告した。

3. 委員変更等の報告

事務局より、分科会委員の変更及び委員所属変更の報告を行った。

4. 前回議事録(案)の確認について

「資料 2 平成 20 年度第 2 回液化石油ガス器具等関係基準分科会議事録(案)」に基づき、事務局より通読した。当議事録(案)について採決を行ったところ、液化石油ガス器具等関係基準分科会委員(6 名)の過半数の賛成(出席委員 6 名全員の賛成)により可決された。

5. 液化石油ガス器具等関係基準の改正について

「資料 3 液化石油ガス器具等関係基準の改正について(案)」 「資料 4 液化石油ガス器具等関係基準新旧対照表(案)」について、説明を行い、以下の意見交換等があった。

○資料 4-①、4-②両者について「I. 総則 1. 目的」文章の書き方が適切でないように思

われ、「～を目的とする。」という表現に改めたほうがよいと考える。

→訂正した文章を事務局より提案し、了承された。

○資料4-①のタイトルの「調整器技術基準」であるが、単に「調整器」とは表現せずに、「圧力調整器」といったような表現を用いることはしないのか？

→政令等により「調整器」といった表現が用いられていることから、これに従う。

○資料4-① P5の表のように、同一表で「MPa」「kPa」が混在しているようなものがあるが、これを統一しないのか？

→法令上使用されている単位に従った。単位のSI化の際に、mmH₂OのものはkPaに、kg/cm²のものはMPaに移行されている傾向があり、法令中でも混在しているものである。

→今後の検討課題として、使用の実態も含めて、単位の統一を検討することもあると考えられる。

○%の表記は半角ではなく、全角のほうが適切ではないか？

→JIS等確認のうえ、これに従う。

○「引張荷重」という表現は、SI単位系においては「引張力」のほうが適切ではないか？

→関係法令等確認し、整合に支障がなければ「引張力」とする。

○資料4-② P4に示すカップリングソケットとプラグの着脱速度について、 $1 \pm 0.5 \text{ mm/s}$ としているが、許容差が大きすぎないか？

→実際の検査の方法の実態を考慮して、 $\pm 0.5 \text{ mm/s}$ の許容差を認めている。

上記の意見交換・訂正等を踏まえて、当該資料について採決を行ったところ、液化石油ガス器具等関係基準分科会委員（6名）の過半数の賛成（出席委員6名全員の賛成）により可決された。

6. その他

○上記5に係わる規格の改正案については、平成21年10月下旬若しくは11月初旬に開催予定の液化石油ガス規格委員会に上申することとした。

○事務局より液化石油ガス分野技術基準3ヶ年計画(平成21～23年度)について説明を行った。

以上